

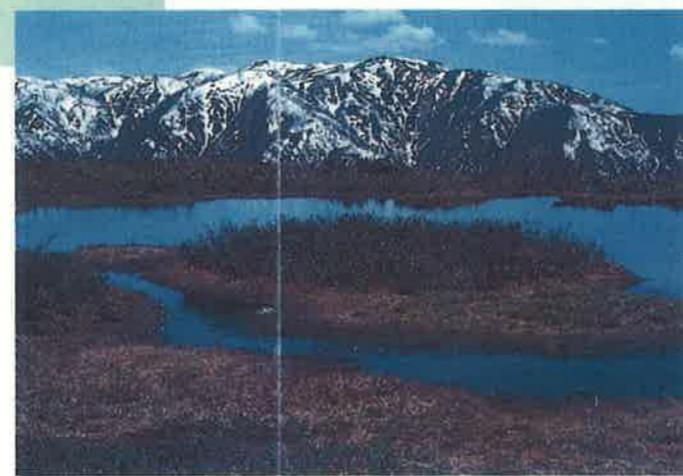


## 高山植物の宝庫 白木峰 (標高1,596m)

岐阜県との県境、白木峰の頂上に立つと、雄山・剣岳・薬師岳、そして槍・穂高などの北アルプスの代表的な山々、なだらかで美しい木曽駒ヶ岳、西は白山、眼下に富山平野、その中央を蛇行している神通川、遠くに魚津港、さらに西には能登半島、河北潟までが見渡せる。頂上付近はニッコウキスゲを中心とする湿性のお花畠が展開する。

21世紀の森林案内板

ニッコウキスゲが咲き競い、登山者を迎えてくれる(7月中旬~)



白木峰は地元で「しろき」と呼ばれています。「しろき」とはブナの意味、つまりブナの山ということです。旧登山道沿いにかなりのブナ林が残っています。なかでも頂上付近の低木化したブナの群落は貴重な存在です。



浮島に遅い春がやってきた。  
この池は名の通り二つの浮島を形成し、浮島にはミヤマナカマドがみられ、その池の周りにワタスゲの純白の穂が人々を魅了させる。その他イワイチョウ、モウセンゴケ、ショジョスゲがあり、5月頃にはモリアオガエルの卵塊がみられる。池の中にはイモリのかクロサンショウウオも観察されるかも?



## 白木峰山麓 21世紀の森

富山県

高山植物の宝庫  
白木峰(標高1,596m)  
の登山口





## 21世紀の森

21世紀の森は高山植物の宝庫白木峰(標高1,596m)の登山口に位置し、ここでは、豊かな自然の中で次代を担う青少年たちが明日への希望とやすらぎを求め、森林を通じて心のふれあいを広める場として活用されています。



### ◆森林学習展示館

緑豊かな森林に囲まれたこの展示館は、富山の美しい自然を紹介するとともに、森林と私たちの生活との結びつきについて理解を深めて頂く施設です。

### ◆施設のご案内

森ではブナ、ミズナラ、トチノキなどの原生林をはじめ、基礎体力を養う冒険の森、きのこの森、養魚の森、野鳥の森、山菜の森、生産の森などが7.7kmの遊歩道で結ばれています。

クロサンショウウオは北陸地方が分布の北限で、白木峰では5~6月山顶の浮島の池に産卵のため集まってくるそうです。一度観察に行こうね。



カッコウの親は自分で巣をつくりず、ひなのお話をしないってほんとう…。

# 森林とわたしたち

私たちのくらしと森林、森林を育てる、森林は生きている、森の自然を観察しよう。



お天気のよい日は、森の中に入ってみましょう。そこでは生きものたちが目に見えないところで、さまざまな自然のドラマをくり広げています。できれば3~4人で、いろいろな虫や鳥たちを調べてみましょう。



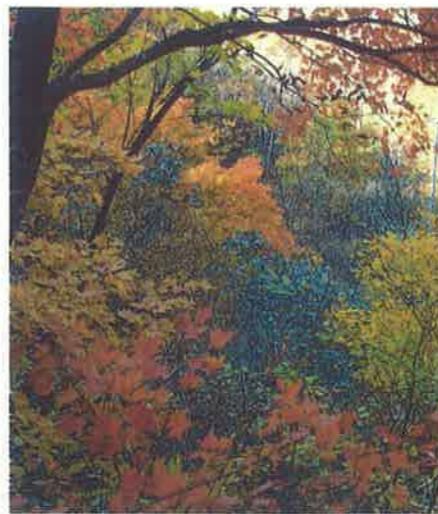
森の中の植物には、コケや草や木などさまざまな種類があります。もし、名前がわからないときは、その特徴をメモして後で図鑑と照合したり、くわしい人に聞きましょう。



きのこの森、ここでは四季を通じて体験学習ができます。森の自然を学ぶには5月、秋なら10月頃が最高でしょう。



炭やきってはじめてだよね。



表情豊かな樹々たちが私たちを森に誘う。(10月上旬)



### ◆杉ヶ平キャンプ場

キャンプ場は、一時に300人収容できることから、子供会や花とみどりの少年団の行事などに大人気。キャンプをしながら炭焼体験。イワナのつかみ取り、森の中でのバードウォッチング、木製道具を使っての空中サークル、お腹がすいたら炭火を使ってのバーベキューで腹ごしらえ。自然の中でのびのび快適にすごす条件が整っており、学校教育、社会教育の場として幅広く活用されています。



キャンプファイヤーを囲む花とみどりの少年団

### ◆四季のみどころ

コブシの香り、ブナの新緑が春を知らせ、たらの芽、コゴミ、ゼンマイ、ウド、スタケなど、つぎつぎと芽吹き、さらに夏から紅葉の秋へと四季おりおりの素敵な自然がいっぱい。



初夏に咲く花アザミ



春を知らせるコブシの花



山菜の王様スタケ (Nemagari-take)